

# HIO YOG

教区新報

2012.10 184号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】 教区基推委広報部



重点プロジェクトの説明を受ける講師団

## 組同朋講師研修

二日に分けて別院で

「平成二十四年度兵庫教区組同朋講座講師研修会(協議会)」が、「兵庫教区同朋講座における差別発言事件」並びに「兵庫教区内より発信された

連続差別投書事件からの学び」を「私たちの課題」と題して、九月十日と九月十四日の二日に渡って開催された。昨年同様、すべての「教

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

区組同朋講座講師」に研修会に参加いただくため、いづれかの日程で参加できるように配慮した。内容は、①重点プロジェクト・基本計画(宗門)と兵庫教区重点プロジェクトについて②両事件の

## 本願寺神戸別院 報恩講法要

十一月二十七日(火)～十一月二十九日(木)の三日間「神戸別院報恩講法要」が修行されます。浄土真宗の法要において、最も大切な報恩講のご法縁でございます。皆様のご参拝を心よりお待ちしております。※十名以上の団体にてご参拝の皆様は、予め別院までご連絡ください。

- ◆十一月二十七日(火)
  - 【速夜法要】 十三時三十分
  - 【仏教讃歌の集い】 十六時三十分
  - 【初夜法要(御伝鈔拝読)】 十七時
- ◆十一月二十八日(水)
  - 【晨朝法要】 七時
  - 【日中法要】 十時
  - 【大速夜法要】 十三時三十分
  - 【帰敬式】 十六時三十分
  - 【奉仕布教】 十六時三十分
  - 【初夜法要】 十八時
- ※二十八日は日中法要後お斎(食事)がござります
- ◆十一月二十九日(木)
  - 【晨朝法要】 七時
  - 【満日中法要】 十時

- ◆講師
  - 二十七日速夜～二十八日晨朝 増井淨見師(赤穂北組浄蓮寺)
  - 二十八日日中・大速夜 藤榮行信師(淡路組宣徳寺)
  - 二十八日初夜～二十九日満日中 多田満之師(赤穂北組西光寺)

## 阪神・淡路大震災物故者総追悼法要

～1.17『いのち』の研修会～

1月17日(木) 午後1時30分より

於:神戸別院本堂 講師:武田邦彦氏



武田邦彦氏

- 主たる活動(一部)
  - 中部大学教授(所属:総合工学研究所) / 内閣府原子力委員会専門委員 / 文部科学省科学技術審議会専門委員
- 著書
  - 「原発を止める55の方法」(共著 別冊宝島) / 「子どもの放射能汚染はこうして減らせる2」(竹書房)
  - 「逆説エコの常識!」(アイコム) / など他多数
- テレビ出演
  - 「やさきたかじんのそこま」で言う「委員会」(よみうりテレビ) / 「さんまのホンマでっかTV」(フジテレビ) など

敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

岡部晃子(岡山北組西光寺前坊守) 平成二十四年

八月二十九日九十一歳 山本龍雄(淡路組萬行寺住職) 平成二十四年九月六日五十五歳

【敬称略】 九月二十七日現在



当院では三年前から毎月みんななで境内を清掃しています。先月のこと、もうそろそろ終わろうかというとき、八十過ぎのTさんが一本の横の木に注目、上の枝を少し切ると言い出しました。◆猟友会の人「あんまり切るな、わしら罪作りじゃけん、木にも恨まれるかも、罰が当たっても知らんぞ」と笑いながら言いました。それでもTさん、「いやいやこっちは」と言っ

通についての説明となった。昨年度に引き継ぎ、両差別事件についての組同朋講座を開催していくことを確認した上で、同朋リーフレットなど基幹運動関係の名称については、実践運動の願いを踏まえ名称等の変更で対応していくが、内容については基本的に変更せず改定し、現在のリーフレットについてはこのまま継続使用、残部が無くなるまでに改訂版を作成することが確認された。

また、③昨年の組同朋講座開催報告書から、「参加者が同じ人ばかり」「時間がかからない」「開催の目的意義がわからない、なぜしているのか?」「僧侶が起こした事件をどうして門徒が?」などの報告があったことを示した上で、宗門や社会の差別の現実を知ること、宗祖が「御同朋」「われら」と呼びかけられた同じ思いで、「自分自身の問題」と捉え取り組んでいくことの必要性を話し合い研修を終えた。

また、③昨年の組同朋講座開催報告書から、「参加者が同じ人ばかり」「時間がかからない」「開催の目的意義がわからない、なぜしているのか?」「僧侶が起こした事件をどうして門徒が?」などの報告があったことを示した上で、宗門や社会の差別の現実を知ること、宗祖が「御同朋」「われら」と呼びかけられた同じ思いで、「自分自身の問題」と捉え取り組んでいくことの必要性を話し合い研修を終えた。

## 王舎城(觀經)の悲劇が舞台化 〜教区主催で神戸で上演〜

九月四日、神戸文化ホールを会場に、創作劇『親鸞聖人七五〇回大遠忌記念公演 親鸞わが心のアジャセ』(主催/兵庫教区教務所)が上演された。

川崎麻世(アジャセ・親鸞聖人役)、音無美紀子(ダイケ役)、中山仁(ピンバシヤラ役)、菅野菜保之(ダイバダッタ役)、管生隆之(ギバ役)といった、実力俳優、一流のスタッフが演じる豪華な舞台に、前売りのチケットは早々に完売し、二千を超える神戸文化ホール



ダイバダッタの企てにより王子が王様に向かい...

の席が全て埋まる盛況の舞台となった。

西宮市から来られた鷲尾アヤ子さんは「演出がすごかった。また、筋書きが複雑で登場人物の名前を覚えるのが大変だったが、親鸞さまのお名前が出てくると親しみが湧いて、わかり易く感じた。台詞の中でも、やはり親鸞さまの言葉が受け止めやすかった。とにかく劇の作りが豪華で、素晴らしい」と語った。

**舞台あらすじ**

●インドの大国、マガダ国のピンバシヤラ王とダイケ王妃は子宝に恵まれないことに悩んでいた。占いは、二人に山中で修行をしている仙人が三年後に死に、王子として生まれ変わると予言する。

しかし、国王はその三年が待ちきれず、仙人を殺害してしまう。仙人は「王子に生まれ変わって王を殺す」と復讐の言葉を残し絶命する。

予言通りダイケは懐妊するが、仙人の予告を恐れ、子どもを高楼から落とし殺そうとしてしまう。だが子どもは手の小指を折っただけで、奇跡的に助かる。

これにより、国王夫妻は心を入れ替え、王子は「アジャセ」と名付けられ、夫妻の愛情を一身に受け、すくすくと成長する。

●一方、釈尊を妬み、教団の統率者になろうと企んだダイバダッタは、成人したアジャセに言葉巧みに近づき、王子の出生の秘密を暴露。

釈尊に代わって、新しい指導者となろうという企みを秘めたダイバダッタは、「あなたは父王ピンバシヤラを殺して、新王となりたまえ」とアジャセをそそのかす。

ダイバダッタから自分の出生の秘密を聞かされたアジャセは怒りのあまり、父ピンバシヤラ王を牢獄に幽閉。密かに王を助けていた母ダイケにさえ刃を向ける。

アジャセの非情なしうちに、ピンバシヤラ王は、ついに牢獄の中で息絶えてしまう。

●やがて、父王に代わって王座についたアジャセは、後悔の念から全身に悪臭を放つ瘡(皮膚病の一種)ができ、不治の病に苦しむように。

恐れおののくアジャセに、名医ギバは釈尊の教えを説き、ついに釈尊のもとを訪ねることを決意する。

釈尊の「苦しむあなたが救われるまで、私も一緒に」という無条件の受容(慈悲)に出会い瘡は癒える。

●しかし、釈尊の静かでありながら、それでもなおアジャセは己の犯した罪報に囚われ、地獄に堕ちることを恐れ続ける。

●しかし、釈尊の静かでありながら、深い慈愛に満ちた言葉に触れたアジャセの心に次第に変化が生じていく。

月愛三昧のもと、アジャセは己の罪過を悔い、「自ら地獄に堕ちることになっても、人々の悪心を破るために、これからは生きていきたい」と宣言する。



前田教区仏婦連盟委員長より川崎氏に花束を

## 若手布教使が実演 〜布教団学習会〜

九月五日、神戸別院にて教区布教団の「第五回各種法座出講予定者事前学習会」が開催された。

今年で三年目を迎える

本学習会は、教区布教団員の布教実践のための学習会であり、布教・伝道の原点を見直し、自らの布教の在り方の問題・課題発表から始まり、続いて布教団員による布教実演が行われた。

今回は、赤井智顕師(阪神西組善教寺副住職)、森本光慈師(氷上西組正福寺住職)、平田豊貴夫師(神戸東組専念寺衆徒)の三名が実演。限られた時間の中、各々の持ち味を生かしてお取次ぎが行われた。

その後、分散会・班別発表と続き、全体会にてまとめが行われ、増井浄見師(教区布教団副団長)の挨拶にて、学習会は締めくくられた。

次回は三月十四日(木)に開催予定。



## BBQをしました! 〜教区仏青夏季交流会〜



4教区の会員が集まりました

八月三十日、教区仏教青年会(仏青)の夏季交流会が神戸市フルーツパーク(神戸市北区)を会場に行われた。

今回は、兵庫の仏青会員だけでなく、奈良・滋賀・京都の会員も参加。計二十六名の仏青会員が、バーベキューなどを楽しみ、教区の枠を超えて交流・親睦を深めた。

兵庫仏青役員のだ元恵さん(姫路市)は「兵庫だけでなく、他教区の方も沢山来られていて楽しかった。色んな人と交流が深まりました。次回もぜひ参加したいです」と話した。

今後の仏青の活動として、一泊二日の日程で、得度習礼に向けて基礎的な研修を行う「得度者査研修会」(寺院子弟育成協議会/教区仏青共催)が十二月二十六日・二十七日の日程で、また、仏青会員を中心とした若者の集い交流会「ヤング広場」が十二月二十七日に開催される。

教区仏教青年会では現在会員を募集中です。仏青の集い・活動を通して、沢山の仲間を作りませんか?

【問い合わせ】  
☎:078-342-5949  
(教務所仏青担当)

## 帰敬式のご案内

この度、神戸別院報恩講法要にて左記の通り帰敬式を実施いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のお式をお待ちしております。

記

- 一、期 日 二〇二二(平成二十四)年十一月二十八日(水)
  - 二、時 間 ※別院報恩講の二日目(午後四時三十分より)
  - 三、場 所 (午後三時三十分集合)本願寺神戸別院本堂(三階)
  - 四、申込み期限 二〇二二(平成二十四)年十一月十四日(水)
  - 五、申込み方法 ※内願法名の受付は終了いたしました。
  - 六、受式費(お布施) 別院(階)事務所にてお申し込みください。(申込みをお渡し致します)
  - 七、その他 ※必ず所属寺のご住職に御相談・御許可をいただいた上で申し込みください。
- ※受式費(お布施)は当日承ります。式章・お念珠は当日お配りいたします。
- 式は椅子席での執行となります。
- 以上